

世界で一番コスパのいい留学先は？

海外語学留学先 徹底比較ガイド



12の比較一覧表を一挙公開！

各留学先の メリット・デメリットが 一目で分かる！

ベストな留学先を選ぶ12の選択基準とは？

- 学校のクオリティは？
- 先生の質は？
- 日本人の割合は？
- どんな国の留学生がいる？
- 留学費用は？
- もっとも就活につながるの？

Message

ご挨拶&メッセージ

留学というものは一生のうち何度もするものではありません。そして、人によって留学は人生の方向性を変えるほど、とても貴重で大きな意味のあるものです。だからこそ、しっかりと情報収集し、慎重に留学先を選ばれていることと思います。

留学計画でもっとも大切なこと。それは「留学先選び」です。留学の成否を分ける根本的な部分で、留学計画の第一歩になります。

ただいろいろな留学先があるなかで、自分にとってどこがもっともよいのかということとはなかなか分かりません。なぜかという理由は2つ。

1. 情報不足
2. 選択基準があいまい

ぼんやりとした自分の希望はあるけれど、決定的な基準がない。そもそもどういう基準で選べばいいか分からない。そして、明確な比較情報がない。

なので多くの方が、

- ・先輩や友達も行ってたから…
- ・人が優しそうだから…
- ・自然がきれいそうだから…
- ・知り合いがいろいろ言っていたから…

というぼんやりとした感じで留学先を決めてしまっています。

そこで今回ご紹介する「海外語学留学先 徹底比較ガイド」では12の選択基準をもとに、

- ・従来の**欧米留学**
- ・マンツーマンで人気の**フィリピン留学**
- ・いま非常に注目されている**マレーシア留学**



を徹底比較しました。

私はこれまで9ヶ国17都市での移住、長期滞在、そしてカナダ、オーストラリア、フィリピン、そしてマレーシアでの留学のお手伝いを長年してきました。その経験から、留学の比較情報を書き下ろしました。

12の選択基準の中には、あなたが重要視するものもきっとあります。自分が重要視する選択基準をもとに留学先を選ぶことで、ご自身のご希望にもっとも合った留学先を見つけることができるはずです。

マレーシア留学サポートセンター
代表 斉藤 高志

【12の選択基準】

「学校の質」「留学費用」「環境」などいろんな選択基準がありますが、ここでは留学先を決めるための12の選択基準で欧米留学^(※1)、フィリピン留学、マレーシア留学を徹底的に比較してみました。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 学校のクオリティ | 7. 生活環境 |
| 2. 講師の質 | 8. 留學生活の充実度 |
| 3. 生徒の多国籍度 | 9. インターンシップ&ボランティア |
| 4. 日本人の割合 | 10. 治安 |
| 5. 住居 | 11. 留学後の進路 |
| 6. 留学費用 | 12. グローバル人材 |

では、それぞれの項目について詳しくみていきましょう。

※1 本書における欧米留学とはアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど語学留学の候補国を総称しています。

比較ポイント

①学校のクオリティ／②講師の質

比較① 学校のクオリティ

留学において学校のクオリティはもっとも重要な項目のひとつです。カリキュラムや授業レベル、シラバス（学習計画）や、学校の運営方針などを含めて学校のクオリティを見ていきます。

比較ポイント①	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
学校のクオリティ	◎	○	◎

【欧米留学】
語学学校の数も多く競争が激しいため、非常にクオリティの高い語学学校が多数あります。

10名～15名前後のグループレッスンが主流。研究されつくしたレッスンカリキュラムで、確実に英語力がつくように設計されています。また、レベル別にクラス分けがされており、学校によっては17レベルに分かれているところも。
IELTS準備コースやケンブリッジ検定などのコースも。

【フィリピン留学】
フィリピンのほとんどの学校が韓国資本の語学学校で、詰め込み式のカリキュラム。授業時間は1日6時間程度で、授業の60%はマンツーマンレッスン、40%はグループレッスンというのが最大の特徴です。日系の学校の中には100%マンツーマンのクラスもあります。マンツーマンレッスンは周りを気にすることなく英語を話せるメリットがあります。またTOEICクラスも充実しています。

【マレーシア留学】
マレーシアにある語学学校はアメリカやイギリス、オーストラリアにある語学学校がマレーシア校を設立していて、本国と同じ高いクオリティの授業を行っています。欧米式の質が高く、英語力がもっとも効率的に伸びるシラバス（学習計画）が組まれています。

レベル別にクラス分けもしっかりされていて、初級レベルの人から中級、上級者までしっかり学べます。IELTS準備コースはもちろん、中国語も同時に学ぶコースもあります。

比較② 講師の質

何かを習うときに、「誰から学ぶか？」ということは英語の習熟度・上達度に大きな影響があります。例えば外国人に日本語を教えるとき、素人が教えるのと、日本語教師が教えるのとでは、6ヶ月後のその外国人の日本語力は雲泥の差になることは想像に難くありません。英語も同じです。「誰から学ぶか？」は非常に大切なポイントです。

比較ポイント②	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
講師の質	◎	△	◎

【欧米留学】
ほぼ全員がネイティブスピーカーで、かつ英語を教える資格保有者しか講師になれません。

各学校が厳しく選考するため、講師のクオリティは非常に高いです。

【フィリピン留学】
ほぼ全員がフィリピン人講師です。また英語を教える資格を持っている講師はごく少数であると言わざるをえません。

訛りが気になることもあり、フィリピン英語に慣れても、ネイティブの英語は聞き取れないということも。また、講師のスキルに差があり、講師によってはせっかくのマンツーマンレッスンでも効果の低いものになってしまいます。

【マレーシア留学】
欧米系の語学学校と同様に、多くがネイティブスピーカーで、かつ英語を教える資格保有者しか講師になれないため、非常に講師のスキル&クオリティが高いです。

マレーシアはアジアの格安留学先としては唯一、有資格者のネイティブ講師から学べるので、欧米と同じ環境のクラスでネイティブの英語を学べます。当然、へんな訛りが身につくこともありません。

比較ポイント

③生徒の多国籍度／④日本人の割合

比較③ 生徒の多国籍度

留学生生活を彩る要素のひとつが、地元の人々や世界中のいろいろな国の留学生と友達ができることです。留学中にできた友達は一生付き合える存在です。世界中にいろいろな国の友達がいる。それだけで人生は何倍も充実します。留学生の多国籍度は留学中だけでなく、留学後も含めてとても大切な指標です。

比較ポイント③	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
生徒の多国籍度	◎	×	◎

【欧米留学】
語学学校によりませんが、日本、韓国、中国からの留学生が中心です。

他にヨーロッパ各国、南米（ブラジル、チリなど）からの留学生がおり非常に多国籍な環境です。

【フィリピン留学】
留学生はほぼ韓国人と日本人のみ。日本人経営の学校の場合、100%日本人という環境もあります。

授業は英語ですが、できる友達は日本人、生活もほぼ日本語で過ごすという環境になりがちです。

【マレーシア留学】
マレーシア全体では150ヶ国以上からの留学生がおりとても多国籍です。

語学学校の留学生も多国籍で、中東アジア（サウジアラビア、イラン、イラク、オマーンなど）、中央アジア（カザフスタン、ロシア、ウクライナなど）、東南アジア（タイ、ベトナム、ラオスなど）、ほかにはドイツ、イタリア、韓国などからの留学生がいます。

比較④ 日本人の割合

留学先の日本人の割合は気になる場所。日本人が多いとつい日本語を話してしまうのではと心配ですよね。実際にせっかく留学しても、できた友達は日本人だけだった、、、という留学失敗談も聞いたことがあると思います。そうならないために知っておくべきことが日本人留学生の割合です。

比較ポイント④	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
日本人の割合	普通	多い	少ない

【欧米留学】
欧米の語学学校の場合、人気校の日本人割合は20%～30%。クラスに2～4人といったところです。

質の高い学校の場合、国籍制限を設けており、ひとつの国の留学生が30%を超えないように調整している学校もあります。

【フィリピン留学】
フィリピンの語学学校はほとんどが韓国資本の学校で、留学生も韓国人と日本人がほとんどです。

学校にもよりますが日本人割合は30%前後。前述のように日本人経営の学校の場合、100%日本人という学校もあります。

【マレーシア留学】
日本人にとってマレーシア留学はまだ新しい留学先です。そのため時期によりませんが日本人の割合は低くて人気校でも15%前後。学校によっては5%以下というところもあります。

比較ポイント

⑤ 住居

比較⑤ 住居

衣食住の「住」の部分である住居。生活の基礎になりますので、どんなところに住むかというのはとても大切な留学の要素です。

比較ポイント⑤	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
住居	◎	○	◎

【欧米留学】
欧米留学の場合、はじめの1ヶ月～3ヶ月はホームステイをし、その後はフラットと呼ばれるシェアハウスに移動するのが一般的です。

ホームステイはホストファミリーによってあたりはずれがあること
もしばしば言われていることです。

【フィリピン留学】
フィリピン留学のほとんどは学生寮になります。学校が管理しており、一人～三人部屋。食事付きのところが多く、生活のすべてが学生寮内で完結するので便利です。

学校によっては食事の時間が決められていたり、寮内は基本的に禁酒・禁煙だったりします。規制が厳しい学校は門限があったり、平日は外出禁止のルールがあり、規則をやぶると罰金を設けている学校もあります。

【マレーシア留学】
欧米ではホームステイが一般的ですが、マレーシア留学ではシェアハウスがコストも安く一般的です。

シェアハウスは3ベッドルームのコンドミニウムを他の留学生と共同で利用します。寝室は個室、リビング、キッチン、バス・トイレは共有になります。自炊も自由にでき、門限などはなく自由に生活することができます。24時間セキュリティなど安全面も万全。さらにプールやジムも無料で利用できます。

コラム なぜコスパのいい留学先が必要なのか？

当ガイドはコスパのよい留学先を欧米留学、フィリピン留学、マレーシア留学を比較しながらお話ししているわけですが、それではなぜコスパの良い留学先が必要なのでしょう？

結論から言うと「**最高の留学を、ベストなタイミングで実現するため**」です。

まず知っていただきたいのが、人生のなかで留学できるタイミングはそれほど多くありません。多くの方の留学をお手伝いをしていて思うことは、一度留学のタイミングを見逃すと、次のタイミングが訪れるのは、5年～10年先。場合によってはそれ以上になります。つまり、その期間はずっと、英語を話せない人生のまま…ということ。なので「**留学はできるときにする**」これが鉄則なのです。

ただ、留学できるタイミングであったとしても、現実問題として、「留学の貯金が十分でないの、したくてもできない…」ということがあると思います。

特に欧米留学は費用が高額になります。3ヶ月の留学で約100万円～120万円、6ヶ月だと約200万円、1年間だと約350万円～400万円必要になります。

これだけのおカネがないとなると、せっかくのタイミングを失ってしまうこととなります。欧米留学にこだわることで、留学に行く時期を逸してしまつては、元も子もありません。留学にいきなり早い段階で英語力を身につけてしまえば、**留学後の人生はすべて「英語を話せる人生」**となります。

留学費用をためるのに時間をかけ、英語を話せない人生を過ごすのか、いまベストなタイミングで、留学をして人生の早い段階で、英語が話せる人生を過ごすのか、どちらがいいかは明白です。個人的には留学費用をためる時間はもったいないです。

ただ、いくら安くても、留学のクオリティは下げたくないです。となると、**留学費用はできるだけおさえて、かつ欧米並みのクオリティの留学ができる留学先がベストな選択**となるわけです。

比較ポイント

⑥ 留学費用

比較⑥ 留学費用

留学の計画をする際にもっとも気になるのが留学費用。留学費用が高いと手が出ませんし、留学費用を貯金するのに時間がかかって、留学に行く時期を逸してしまえば、元も子もありません。安いことだけがいいわけではありませんが、決して安くはない留学費用をどのように効率的に、かつ効果的に活用できる留学先とはどこでしょうか？

比較ポイント⑥	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
留学費用	△	◎	◎

【欧米留学】
国により若干の差はあるものの、欧米留学の費用は一般的に高めです。物価も日本と変わらないため、生活費も相応に必要になります。

【フィリピン留学】
マレーシア留学とほぼ同じくらいの留学費用です。物価は日本の1/3程度となり、さらに食事などもついていますので、留学費用は非常にリーズナブルです。

【マレーシア留学】
クオリティは欧米の語学学校と同様のマレーシアですが、授業料は欧米の半額です。物価も日本や欧米の1/2なので、トータルの留学費用も欧米の半額になり、「高クオリティ×低コスト」を実現できる留学先です。

留学期間別 概算の留学費用一覧表

入学金、授業料、テキスト代、宿泊費、食費・生活費、海外留学生保険代、航空券代などを含めた留学総額の予算です。（費用概算です。学校、住居、生活スタイルによって異なります。）

留学期間	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
1ヶ月	約53万円	約26万円	約27万円
2ヶ月	約85万円	約45万円	約44万円
3ヶ月	約117万円	約66万円	約63万円
6ヶ月	約214万円	約127万円	約124万円
8ヶ月	約274万円	約164万円	約156万円
10ヶ月	約334万円	約211万円	約187万円
12ヶ月	約407万円	約246万円	約219万円

費用はあくまでも一般的なものとなり、学校や住居や生活スタイルによって、個人差はもちろんありますが、留学費用が安いことで有名なフィリピン留学は、ほぼマレーシア留学と同じくらいです。

また、欧米留学とマレーシア留学／フィリピン留学を比べると、どの期間においてもほぼ2倍のコスト差があることがわかります。裏を返せば、「欧米留学に行く費用で、マレーシア留学をすると2倍の期間の留学ができる。」
「同じ予算で2倍の留学期間を確保できる」

ということです。

例えば、120万円という予算がある場合、欧米では3ヶ月の留学しかできませんが、マレーシア留学では欧米の2倍の6ヶ月の留学が可能です。

このポイントはとても重要。というのも、英語力はどれだけの期間、英語に浸る時間を持ったかどうかに比例します。単純に考えて、2倍の留学期間を確保できるほうが間違いなく英語がのびます。

比較ポイント

⑦生活環境／⑧留學生活の充実度

比較⑦ 生活環境

交通機関、医療機関、ショッピングセンターやスーパーマーケットなど生活するための環境は留學生活の基礎になります。生活の利便性、快適度など総合的に見ていきます。

比較ポイント⑦	欧米留學	フィリピン留學	マレーシア留學
生活環境	○	△	○

【欧米留學】
先進国として日本と同等のインフラ整備がされています。公共交通機関も、医療機関も充実しています。

当然、ショッピングセンターやスーパーマーケット、コンビニ、レストランなどがあり、普段の生活で困ることはありません。

【フィリピン留學】
街のインフラ整備はまだこれからで、公共の交通機関はタクシーが中心となります。ただ治安がよくないのでタクシー利用も不安が残ります。

生活に必要なスーパーマーケットなどは充実していて、フードコートや屋台などもあり、非常にリーズナブルです。衛生面は不十分との声もあります。

【マレーシア留學】
2020年に先進国入りを目指すマレーシアはインフラ整備も進んでいて、公共交通機関も整備されています。電車網も整備されていて、とてもリーズナブルで移動もしやすいです。日本語の通じる病院もあり安心です。

ショッピングセンターやスーパーマーケット、市場、コンビニ、レストラン、フードコート、屋台など多彩で、日本に比べて非常にリーズナブルです。

比較⑧ 留學生活の充実度

留學の第一の目的は英語力を伸ばすことですが、放課後や週末の楽しみ方次第で留學生活の充実度は何倍にも変わってきます。留學中にどんなことができるのかということはとても大切な要素です。

比較ポイント⑧	欧米留學	フィリピン留學	マレーシア留學
留學生活の充実度	◎	○	◎

【欧米留學】
都市部ならシティライフを楽しめますし、ビーチが近くにあれば放課後や週末にビーチでゆったりすることもできます。

また、ホームステイ文化が根付いた欧米では週末にバーベキューをしたり、ホストファミリーと出かけたりということもあります。

【フィリピン留學】
ビーチリゾートとしても有名なセブ島では、週末にビーチにでかけたり、マリンスポーツを満喫することができます。

学校が企画する週末アクティビティに参加するのも一つの方法です。また、クラブやバーなどもありナイトライフも楽しむことができますが、治安が気になることは否めません。

【マレーシア留學】
世界遺産マラッカやジョージタウンやショッピングはもちろん、ビーチリゾートや高原リゾート、カジノなどもあります。週末にビーチリゾートに行き、パラセーリングやシュノーケリングを楽しめます。治安がよいので安心して楽しめる点もポイントです。

また、地理的に東南アジアの中心に位置するマレーシアは、週末に周辺の国への小旅行も気軽に楽しめます。

比較ポイント

⑨ インターンシップ&ボランティア / ⑩ 治安

比較⑨ インターンシップ&ボランティア

留学+aの経験をした方におすすめなのがインターンシップ&ボランティアです。身に付けた英語力を実践で試すことができ、さらに現地での人脈を広げることができ、近年とても注目されています。

比較ポイント⑨	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
インターンシップ &ボランティア	◎	○	◎

【欧米留学】
先進国ではインターンシップもボランティアも非常に盛んです。インターン先もボランティア先も豊富にあり、興味のあるところから選択することができます。

ただ、一般的に語学力を問われるインターンシップ先・ボランティア先が多く、英語でのコミュニケーション力が求められます。

【フィリピン留学】
フィリピンのインターンシップも人気です。多くは語学学校が提供するサービスとしてのインターンシップで、日本語80%・英語20%といった職場環境が中心です。

ボランティアは豊富にあり、ボランティア目的でフィリピンに行く人もいます。

【マレーシア留学】
マレーシアはインターンシップやボランティアがとても盛んな国です。また欧米に比べ、高い英語力を求められず、英語に自信のない方でもトライしやすい雰囲気があります。
インターンシップの募集は多く、大企業からスタートアップ企業、社会企業まで。業種も事務職、営業職、マーケティング、市場調査など多岐にわたります。
ボランティアはチャイルドケアやリサイクリング、難民ケアなど様々。

比較⑩ 治安

留学先の治安は留学生だけでなく、留学生を送り出す家族にとっても気になる場所。安心面での留学先選びの**最重要ポイント**です。

比較ポイント⑩	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
治安	○	×	○

治安がよいと、のびのびと留学生活を楽しむことができますし、いろいろな人々との出会いも広がり、結果的に留学自体のクオリティが上がります。

現地の治安を客観的に知るためにイギリスのエコノミスト紙が毎年分析している「**世界平和度指数**」が参考になります。暴力、犯罪、戦争、軍事費など24項目にわたって162カ国を対象に分析し、各国や地域がどれくらい平和かを相対的に数値化したものです。

世界平和度指数 (2015年)
1位 アイスランド
4位 ニュージーランド
7位 カナダ
8位 日本
9位 オーストラリア
28位 マレーシア
39位 イギリス
42位 韓国
94位 アメリカ
141位 フィリピン
143位 インド
153位 北朝鮮

8位の日本を基準にみても、語学留学先の人気国としては4位のニュージーランド、7位のカナダが日本よりも平和ということになります。9位のオーストラリアもほぼ同等です。

マレーシアは28位。アジア地域では日本、ブータン、シンガポールに続き4位です。マレーシアよりも治安がよくないのは39位イギリス、94位アメリカ。

さらに、ワースト20に入りそうな141位フィリピンとなります。北朝鮮が153位というところをみると、フィリピンの治安の悪さが分かります。

比較ポイント

⑪ 留学後の進路の可能性 / ⑫ グローバル人材

比較⑪ 留学後の進路の可能性

留学は人生を左右する大きなイベントです。現地でどれだけ頑張れるかにもよりますが、そもそも「どこに留学するか？」で留学後の方向性が決まります。留学はあくまでも人生の可能性を広げるためのツールでしかありません。社会という戦場でできるときに、弓矢を持つのか、鉄砲を持つのか、あるいはマシンガンを持つのか？その選択は留学先選びにあります。

比較ポイント⑪	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
留学後の進路の可能性	◎	○	◎

【欧米留学】
学費は高額になりますが大学や専門学校に進学することができます。また、国によってはワーキングホリデーのビザを取得したり、スポンサー企業をみつけビジネスビザで仕事をする事でキャリアアップすることも可能です。

【フィリピン留学】
現地での大学進学・現地就職はあまりなく、基本的に日本に帰国し、就職活動というのが一般的です。

【マレーシア留学】
マレーシア留学後の進路ですが、最近人気なのがマレーシア国内の大学進学、あるいはマレーシアでの就職です。

マレーシアの大学はその質の高さが注目されています。またマレーシアで1年学んだあと、提携している欧米大学に編入できる「ツィニング・プログラム」も人気を呼んでいます。

失業率の低いマレーシアは求人も多く、留学生の就職環境としても恵まれています。また、日系企業の進出も急増していて、現地での就職も引く手あまたのじょうたいです。語学力があり、日本レベルのビジネス・スキルがあり、ローカル嗜好を知っている日本人留学生にチャンス大です。

もちろん帰国後に就職活動する選択肢もあります。

比較⑫ グローバル人材

アジア、そして世界で活躍する人材になるための留学と位置付けた場合、どこに留学をすることが最短距離なのでしょうか？「英語が話せること＝グローバル人生」ではないいまの時代。戦略的に留学先を選ぶ必要性が高まっています。

比較ポイント⑫	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
グローバル人材	○	○	◎

【欧米留学】
世界の最先端と言えばアメリカ。人種のるつぼアメリカでの留学を通じて先にお話したグローバル人材に必要なスキルを身に付けることができます。

ただ、オーストラリアやカナダ、ニュージーランドなどは日本との経済規模としてのつながりはそれほど小さくなく、またこれから増える要素もありません。

【フィリピン留学】
人口はASEAN2位と高いポテンシャルはありますが、失業率が高いこと、スキルを持った人材が国外に流失してしまうということもあり、グローバル人材育成という点ではマレーシアに後れを取っています。

ただ今後の成長次第でASEANをけん引する経済力、成長性は大きなポテンシャルを秘めています。

【マレーシア留学】
これからは「アジアの時代」と言われており、今後アジアが世界経済の中心になっていきます。その中でもマレーシアは多民族国家、経済成長力、政治の安定度など総合的に注目されています。

ASEANに進出する日本企業が急増している現状を踏まえると、多文化を一度に学べるマレーシアでの留学経験はグローバル人材に必要な2つのスキル「英語でのコミュニケーション力」、「異文化を理解する能力」を身に付けるのに最適な留学先と言えます。

12のポイント比較一覧表

留学先を決めることは留学計画の第一歩。雰囲気やイメージで決めるのではなく、明確な選択基準をもとに自分の希望にあった留学先を選びましょう。以下の12の比較ポイントは主なものになりますので、留学先選びの際に参考にしてください。

比較ポイント	欧米留学	フィリピン留学	マレーシア留学
①学校のクオリティ	◎	○	◎
②講師の質	◎	△	◎
③生徒の多国籍度	◎	×	◎
④日本人の割合	普通	多い	少ない
⑤住居	◎	○	◎
⑥留学費用	△	◎	◎
⑦生活環境	○	△	○
⑧留學生活の充実度	◎	○	◎
⑨インターンシップ & ボランティア	◎	○	◎
⑩治安	○	×	○
⑪留学後の進路の 可能性	◎	○	◎
⑫グローバル人材	○	○	◎

あしがき

最後までお読みいただき有難うございます。

ここまでお話ししてきた通り、コストパフォーマンスで留学先を選ぶのであれば、留学の専門家としてマレーシア留学をお勧めします。欧米の語学学校とほぼ同等のカリキュラム、ネイティブ講師というクオリティに加え、留学費用は欧米留学の半額、フィリピン留学なみ。こんな留学先はマレーシアをおいてほかにありません。また、その留学経験が就活やキャリアアップに直結する留学先という面をみても、まさに世界で一番コストパフォーマンスの高い留学先です。

ご存じのように21世紀は「アジアの時代」と言われ、実際にビジネスの中心は欧米からアジアへ移っています。また、2015年12月にはASEAN経済共同体が発足。この人口約6億人の未開拓の巨大マーケットに多くの日本や欧米諸国から企業の進出が急増しています。こうした状況が示すように、もはや世界の中心は米国ではなく、アジアなのです。

マレーシア留学をすることで、費用対効果よく英語力を習得し、留学中にインターンをすることで海外でのビジネス経験を得て、さらに多様

な国・人種の嗜好や興味、文化、商習慣が肌感覚で分かる。こうした国際感覚を養うことで、これからの時代に必要とされるスキルを効率的に身につけることができます。

留学を検討し始めてから、実際にいくまでの期間というのは、多くの方はそれほど長くありません。学生時代に限られていたり、社会人の方で退職しているごく限られた期間となります。

その際に、欧米留学にこだわるのも一つの選択肢です。ただ、こだわりすぎて、留学費用をためるのに時間がかかり、留学に行く時期を逸してしまつては、元も子もありません。留学にいいけるタイミングで、最善の選択をし、人生のできるだけ早い段階で英語力を身につけてしまえば、その後の人生はすべて「英語を話せる人生」となります。

ぜひ一日でも早く「英語を話せる人生」の扉を開いてください。あなたの留学の夢がかなうことを心からお祈りしています。

マレーシア留学サポートセンター
代表 斉藤 高志

お知らせ マレーシア留学のご相談は…

もっともコスパのいいマレーシア留学にご興味をおもちでしたら、弊社の主催するマレーシア留学セミナーや個別カウンセリングにお越しください。セミナーではネットでは検索できない学校や各都市の最新情報をはじめ、留学前に絶対に知っておくべき大事な知識・ポイントをお伝えしています。

個別カウンセリングではあなたの目的に最適な都市・学校・住居選びを無料でサポートしています。もちろんビザの申請やその他留学に必要なすべての準備をワンストップで解決できます。



～マレーシア留学国内No.1エージェント～

マレーシア留学サポートセンター

ご予約はこちら

お電話 : (03)5428-5874 (平日10時～19時)

Web : <http://www.malaysia-ryugaku.jp>

Eメール : info@malaysia-ryugaku.jp (24時間受付)

We're looking forward to seeing you! 東京・恵比寿のオフィスでお待ちしています！

JR恵比寿駅西口、東京メトロ恵比寿駅4番出口から徒歩2～4分です。

■JRをご利用の場合

JR山手線恵比寿駅西口をでて左方向のバスロータリーに進みます。駒沢通りの渡り駅に背を向けて進み、牛井の吉野屋を超えたら角を右折。正面に恵比寿神社の鳥居が見えます。神社を左折し左側の一つ目のガラス張りのビルの3階です。徒歩3～4分程度です。

■東京メトロをご利用の場合

東京メトロ恵比寿駅4番出口をでたら右に進みます。一つ目の角を右折。右側に見えるガラス張りのビルの3階です。徒歩1～2分程度です。



～マレーシア留学No.1エージェント～

マレーシア留学サポートセンター

海外ステイサポート株式会社

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西1-10-16

ウエストパークビル3階

TEL : (03)5428-5874 (平日10時～19時)

FAX : (03)3462-0557 (24時間受付)

<http://www.malaysia-ryugaku.jp>

info@malaysia-ryugaku.jp (24時間受付)

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の内容の一部あるいは全部について海外ステイサポート株式会社から文書による許諾を得ずに、無断で複写複製・流用・配布・販売することは禁じられています。これらの行為が発覚した場合、著作権侵害として厳正なる法的処置を取りますのでくれぐれもご注意ください。